

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

活動紹介 平成27年度 伊勢管内多面的機能支払交付金活動説明会 及び事例発表会が開催されました。



伊勢農林水産事務所田中所長挨拶



記念撮影

平成28年1月25日(月)に伊勢市御園町のハートプラザみそのにおいて、多面的機能支払交付金活動説明会と事例発表会が開催され、伊勢管内で多面的機能支払に取り組んでいる活動組織と市町関係者約200名の参加がありました。

1部の活動説明会では、主催者である伊勢農林水産事務所の田中俊行所長の挨拶に続き、三重県農業基盤整備課

農地水保全班の伊藤知昭主幹より多面的機能支払交付金にかかる事務手続きと題し、年度末に作成しなければならない書類の作成上の注意点や中間評価の実施に関するお願い、局の抽出検査や協議会の履行確認での主な指摘内容などにつき説明がありました。

1部の最後には、伊勢管内を3つに分け、舞台前で記念撮影を行いました。

休憩をはさみ、2部の事例発表会では、伊勢農林水産事務所農村基盤室の堤宏司室長の挨拶の後、伊勢管内5市町よりそれぞれ1組織づつ計5組織(伊勢市「馬瀬町環境整備委員会」、玉城町「清し有田佐田沖環境保全会」、度会町「茶屋広農地環境保全会」、大紀町「グリーン古里活動組織」、南伊勢町「道方みどりグループ」)の事例発表会がありました。

平場の活動組織から山間部の活動組織の活動まで、地域地域で特徴のある内容や活動組織が抱えている問題点などがよく分かりとても有意義な発表会でした。

最後に、伊勢農林水産事務所農村基盤室農村計画課の玉田隆作課長の事例発表に対する講評があり、盛会に閉会しました。



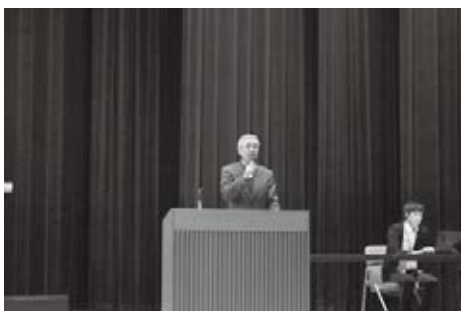
馬瀬町環境整備委員会(伊勢市)



清し有田佐田沖環境保全会(玉城町)



道方みどりグループ(南伊勢町)



茶屋広農地環境保全会(度会町)



グリーン古里活動組織(大紀町)

活動紹介「多面的機能の維持・発揮活動 紀北のつどい」が 開催されました。



紀北町竹内副町長挨拶



三重県農業基盤整備課農地水保全班伊藤主幹説明

平成28年2月17日(水)に北牟婁郡紀北町の紀北町役場1階101会議室において「多面的機能の維持・発揮活動 紀北のつどい」が開催され、紀北町において活動に取り組む6活動組織の参加がありました。

この催しは、紀北町の活動組織は平成26年度より多面的機能支払に取り組まれ経験も浅いため、紀北地区における活動組織相互の情報交換や意見交換を行い、より一層活発に取り組んでもらうことを目的に開催されました。

主催者である紀北町の竹内康雄副町長の挨拶の後、三重県農業基盤整備課農地水保全班の伊藤知昭主幹より年度末に作成しなければならない書類の作成上での注意点や局の抽出検査や協議会の履行確認での主な指摘内容など事務の手続きに関する説明がありました。

その後、紀北地区の活動で最もウエイトを占める「除草作業の取組状況について」と「獣害対策について」の2テーマについて3班にわかれワーキングが行われました。

除草作業では、草刈は個々で行っているため草刈り機の刃を配ったとか、一斉に草刈を行うのは不可能であるので、ある期間を定めその中で草刈をすることを決め、役員が後日見回り草刈がされていることを確認して日当を支払うという意見もありました。

獣害対策では、柵が設置してあっても下をくぐってくるためトタンを当てた例などの意見がありました。県の伊藤主幹よりお金をもらわず農地維持活動だけでも柵の設置はできるが、その際、資源向上(共同)の必要項目にチェックをして活動計画書の変更が必要であるとの説明がなされました。

意見交換の後、三重県農村資源向上委員の丸山小より委員より5年後、10年後の地域をどのようにするかイメージし、地域で合意形成を図って活動をしていってもらいたい。活動を新聞等でアピールしていくことも大事である講評があり、最後に尾鷲農林水産事務所の藤井明生農政・農村基盤室長の閉会の挨拶で閉会しました。



意見交換会の様子